

資料6

第6回図書館で夢を実現しました大賞
及び
鳥取県立図書館のビジネス支援
20周年記念Bizフォーラム
の実施結果について

第6回図書館で夢を実現しました大賞の結果及び 鳥取県立図書館のビジネス支援20周年記念Bizフォーラムについて

1 第6回図書館で夢を実現しました大賞 ※隔年で開催

図書館のビジネス支援機能を県民に広く周知するため、鳥取県内の公共図書館を活用して起業、商品開発、技術開発、経営改善等を行った事例を公募し、優秀な事例を表彰しました。

また、受賞者には夢を実現するまでのサクセスストーリーを漫画にして贈呈しました。

(1) 受賞者

最優秀賞 内 容	堂計画室 代表 生田 昭夫氏 最近の建築物には木を使ったものが少なく、子どもたちにも木に触れる機会を作りたいと考え、木の絵本を製作。倉吉市立図書館で製本の方法や絵本の題材、挿絵の参考資料などの資料相談を行って現在までに5タイトルを製作。
優 秀 賞 内 容	合同会社TRIICOのとう接骨院 代表社員・院長 野藤 博司氏 柔道整復師の経験をもとに地域住民の健康を守ることを目指して地元で開業。創業前に、県立図書館の相談会に参加して図書館の資料を活用。
優 秀 賞 内 容	小取舍 代表 村瀬 謙介氏 小取舍は鳥取にちなんだ作品を扱う出版社設立。本の企画から編集、取次を一人で行っているため、編集やマーケティング、デザインに関する資料など、図書館で情報収集を行っている。

(2) 表彰式

ア 日 時 令和7年3月1日 (土) 午後1時

イ 会 場 鳥取県立図書館 2階 大研修室

ウ 参加者 72名 (登壇者・スタッフ含む)

2 鳥取県立図書館のビジネス支援20周年記念Bizフォーラム

鳥取県立図書館のビジネス支援サービスを開始してから20年目のメモリアルイヤーを迎えることを記念し、上記1の表彰式に続けて開催しました。

(1) 日時

令和7年3月1日 (土) 午後1時30分

(2) 会場

鳥取県立図書館 2階 大研修室

(3) 内容

ア 記念講演

演題 「鳥取で起業すること」

講師 宇佐美 孝太氏 (株式会社Skyer代表取締役)

人口の少ない鳥取だからできる最先端のドローンビジネスについて。地方にいる若者の将来の選択肢を増やせるような仕組みや機会づくりをしていきたいと、起業を考えるように。

若者が地方で働いてみたいと思うためには最先端のビジネスであることが必須と考え、テクノロジーとインターネットというキーワードで事業を模索していたところ、2015年に首相官邸にドローンが墜落したというニュースを聞いた。最初はドローンが何かも知らなかったが、調べるうちに最先端のドローンビジネスに可能性を感じるように。

しかし、ドローンを飛ばすには様々な制約が生じ、広い土地が必要だったため人口の少ない鳥取だからできる企業ではないか考え、2016年にSkyerを設立した。

現在では鳥取県と連携し、特に夏場に増える鳥取砂丘の観光客の熱中症患者の早期発見にドローンを役立てている。創業者向けには、SANDBOBOX TOTTORI 創業時の統計データを使った創業計画や経営方針、失敗したことなど事例をあげながら紹介された。

イ ミニ講演会

演題 「公立図書館におけるビジネス支援とは？」

講師 竹内 利明氏（ビジネス支援図書館推進協議会会長・元電気通信大学特任教授）

2000年12月からビジネス支援図書館推進協議を開始し、全国に700名近く受講した司書がいる。全国にビジネスライブラリアンがいることを紹介された。

行政との距離が近い鳥取県では、行政や地域を巻き込みながら図書館のビジネス支援サービスが定着した。住民の皆様は、鳥取県立図書館でぜひ資料相談（レファレンス）をしてほしい、思わぬ情報が司書から出てくることもあり、そればビッグビジネスにつながることもある、と紹介された。

ウ パネルディスカッション

テーマ 「成功事例から学ぶ、図書館を使い倒す方法論」

コーディネーター 延原 清隆氏（日本政策金融公庫国民生活事業鳥取支店融資課長）

パネリスト 増田 晋也氏（アイメモリア株式会社 代表取締役）

山田 大樹氏（稲妻飯店店主）

生田 昭夫氏（堂計画室代表）

パネリスト3名の事業の紹介をされたのち、図書館をどう活用したか紹介された。

特に、生田氏のお話に参加者がひきつけられる場面もあった。

生田氏は自身のプロフィールを紹介するとともに、投入堂の修繕の際に必要な図面が東京学芸大学にしかなく、閲覧する際に大変苦勞されたことを紹介。また、鳥取市では昭和初期に地震・戦争・大火が立て続けにあり、資料の多くが消失したことで、過去の資料を見つけることの難しさを語られた。

さらに自らが昭和初期に撮影された写真を持参。鳥取市袋川沿いにあったバラックの写真をステージ上で紹介され、地震・戦争・大火の影響で家を川沿いに作って暮らしていたのが昭和60年代まで残っていたということを、図書館に何度も通って新聞を使いながらその事実を調査していったと紹介。図書館にはそういった力があり、調査のためにはぜひ図書館を使ってほしいとした。

山田氏も「創業するときには失敗してもいいからやってみようという気持ちが大切」と紹介され、増田氏も「自分では探せなかった情報を司書に聞いたら知ることができる」と話された。

受賞者、Biz フォーラム登壇者

【表彰式】

(左から)受賞者の生田 昭夫氏、村瀬 謙介氏 ※野藤 博司様は欠席



【Biz フォーラム】

基調講演 宇佐美 孝太氏



ミニ講演 竹内 利明 氏



パネルディスカッション

コーディネーター:延原 清隆氏

パネリスト:増田 晋也氏、山田 大樹氏、生田 昭夫氏



木のぬくもりを伝えたい！ 郷土の素晴らしさを伝える木の絵本の製作

倉吉市 堂計画室

第6回

最優秀賞



平成2年に設計事務所「堂計画室」を開いて30余年
私は建築士としての仕事を
郷土の建築に強い思いがあり
記録にまとめては出版していました



代表 生田昭夫

地元の貴重な
建築のことを
残していこう！

そして
建築に関わって
いく中で…



普段から
木を使ってるけど
最近の建物は
クロス張りが多く
木が身近に
感じられる
ものが少ない！



そんな中
在宅障がい者の
デイサービス施設で
木を使った絵本を
作っていることを
知りました

本なら作った
ことがある
木の絵本がいいかも



倉吉市立図書館で
参考になるものを
探しました

木でできた
絵本ってある？

おお！
これは
僕のイメージに
近いぞ！
これを参考に
作ってみよう



倉吉市立図書館

内容は創作でなく
中部地域の物語に
決めただけ
どんな絵やお話に
したらいいものか…
なにか無いかねえ？



先生
「法力」という言葉は
子供にわかるかなあ
「ふしぎなちから」は
どうですか？



文章は小学校の先生に見ていただきました

材料の木材は
地元の森林組合が
協力して
くれました



三朝の杉板で作るぞ！

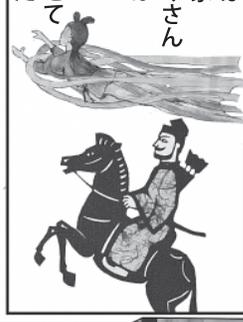
一度は倉吉周辺の
印刷会社にすべて
断られました
うちでは
無理ですねえ



生田さん
木製のグッズに
プリントしてる
この方式が
使えそうです



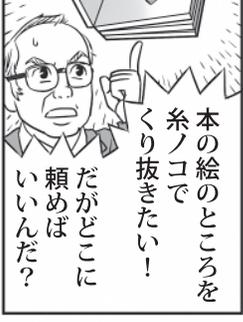
倉吉天女の絵は
倉吉在住の画家
むらおかあきみさん
三朝温泉の絵は
かじかわ
みつるさんの
切り絵を使わせて
いただきました



背表紙はやはり
伝統の倉吉
いいな！



お願
いします！



本本のところを
糸ノコで
くり抜きたい！
だかどこに
頼めば
いいんだ？

スムーズに
本が開くように
くり抜きを
作ってください



それから
倉吉の厚み分
0.3ミリの
削り込みが
欲しいんですが…



板の加工も
微調整を
繰り返しました

数多くの
試作を重ね…



ついに
5冊の
木の本が
完成！

これは
中部地区の
技術の結晶だ！

東京のアンテナショップ
『とっとり・おかやま新橋館』で
展示販売を行ったところ…
本当ですか！
5冊×3セットが
数日のうちに完売！？



作って良かった！
もう5冊作って
10冊のシリーズに
したいし
化粧箱も…



現在シリーズの
完結を目指して
奮闘中です

地元のみなさまとのつながりを大切に 生まれ育ったふるさとで接骨院を創業

鳥取市 合同会社 TRICO のとう接骨院

第6回



優秀賞

私は高校時代は野球部のピッチャーでした

野藤 博司

ストライク!!

体の不調がある時は接骨院や整形外科に通院していました

いつも助かるなー 僕も将来、体のケアに関わる仕事に就きたいな

柔道整復師と理学療法士どっちがいいのかな

柔道整復師は国家資格で個人で接骨院を開業できるんだ

いつか地元で接骨院を開業したい

よし 柔道整復師を目指そう!

そして大阪の専門学校に進学

3年間技術を学び就活へ

鳥取県内の接骨院も求人が出ているぞ

帰郷して見学すると

その接骨院に入社することができ約10年間 施術の他に人材育成や経営のマネジメントを学び

分院の院長も任されるように

30歳で創業できそうだな...

1日に100人以上も来院してる!

これなら十分に経験が積めるぞ

本格的に創業に向かうため鳥取県立図書館の起業・経営なんでも相談会に参加しました

他にも鳥取商工会議所できっと創業塾に参加すると

県立図書館の活用方法について知ることができ

さらに資料相談も!

接骨院の創業にはこんな本があります

鳥取県立図書館

図書館は本を借りて読む所くらいに思ってたけど色々な利用法があるんだな

商圏分析や人口分析ができるなんて

他にも参考文献がこんなに!

会社設立のための定款作成

お店のロゴデザイン発注の仕方

SNSの活用法

だんだん店のイメージが固まってきたぞ

令和6年1月のとう接骨院を開院しました

ついにここまできたぞー!

ねえ先生 接骨院と整体の違いって何なの?

そうですね 接骨院は電気施術や温熱施術もできますよ

インボディで筋肉量や栄養状態がわかりますよ!

あっ 筋肉が増える! 先生に教わった運動のおかげ!!

ご高齢の方にも気軽に通院できる価格設定 送迎サービスを実施

インスタグラムで健康情報を発信したり

同じ地域の鍼灸院や接骨院とも連携しています

この患者さんには鍼灸の方が良いかも:

第3回 鷲峰山麓ハーフマラソン in 麒麟のまちではボディケアブースでランナーをもてなしました

なかなか施術に來られない方の為に公民館で出張施術も行なっています

こんにちは! 施術に來ましたー

公民館のとうさん 待ってましたー

今日もよろしくー!

じゃ順番にやっていきますね!

地域の人たちに笑顔と元気をもらいながら これからも頑張ります!

※インボディとは、体内成分分析装置です。鳥取県の接骨院では、のとう接骨院のみに設置されています。(令和6年12月現在)

地域の想いを出版の力で支えたい 図書館を利用しながら著者と二人三脚で本を創る出版社

鳥取市 小取舎

第6回



優秀賞



どんなに素敵な人でも記録に残してないと亡くなったときにそれも一緒になくなってしまう…にかいい方法は…



もつと話を聞きたかったな
地元で素晴らしい音楽活動をされていたからね…



そんなある日取材で仲良くなったバーの店主が亡くなったとの知らせが…
ええっ○○さんが？



鳥取県にも知らない世界がたくさんあるな
面白い人もたくさんいるのがまたいい！
県内の情報を扱うフリーマガジンの営業・企画制作に携わりました
村瀬謙介



本を出版する際には毎回違った知識が必要になるため図書館で情報収集しました
本のテーマに合ったデザインや編集マーケティングの知識も重要だ…



多くの人の後押しもあって本の企画から編集取次までを一人で行うひとり出版社「小取舎」を創業しました
鳥取県発で出版したい人の想いを実現していくぞ
※本の取次とは、出版した本を書店に卸す仕事です。



いや…これは俺ができることかも…
いやいや…編集だけでは出版は…



そんな中…鳥取県内には出版したくても相談できるところが少ないよね
言われてみれば…



さらに黒い表紙に文字を乗せるとサスペンス系とか重い歴史小説っぽくなる…
臨床…
うん
うん



「闇の中に灯りを」というタイトルだから表紙は黒がいいかも
それからああしてこうして…
著者は著書に對する想いが強い
ため、つい色々盛込みたくなる
ということがあります
少し時間をください



ある本ではこんな事が…
ときには一緒に図書館に行つて資料を探したりイメージを共有したりします
本は気持ちの熱さを大切に著者と二人三脚で作っていきます



今回の本に合ったデザインは…
組版
版面
綴じ
裁ち
書体
行間
装丁…
出版や印刷は専門用語が多い



わかりましたまずは内容を整理していきますよ
これから著者と二人三脚で創り続けていきます



母さん
ありがとうございます
本作りは新鮮な驚きにあふれています
母の絵本？
はい子供の頃から作ろうと
思ってたんです



いいね！
それぞれの星がまるで生徒たちのようだよ
母さん
ありがとうございます
本作りは新鮮な驚きにあふれています



あんた絵が上手いだけ描いたら？
俺が？



ふとした閃きからアイデアが出たが…
どうしたの？
母さん…
表紙に砂浜と星空をイメージしたんだ肉眼ではバツチリなんだけど写真がうまく撮れなくて